

Feel the arts 伝国の杜だより

米沢市上杉博物館
置賜文化ホール
Spring 2013
Vol.23

～合戦図屏風と上杉の記録と～

2013年

前期 4/13(土)～5/12(日)

後期 5/18(土)～6/16(日)

展示替：5/13(月)～17(金) 休館日：5/22(水)

戦国のメモリー

特別展

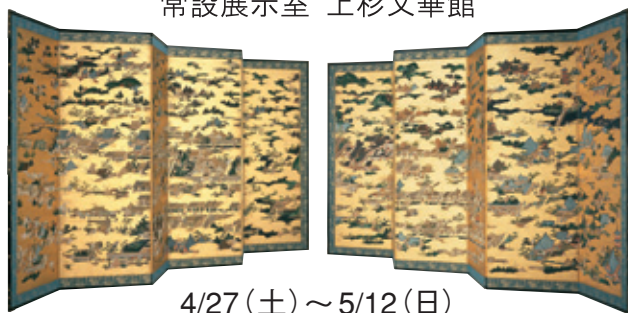


米沢本川中島合戦図屏風（部分）米沢市上杉博物館蔵

戦国時代の争乱や天下統一に伴う戦争など、戦国時代から江戸時代に至る過程は大きな時代の転換点でした。その時代を生き抜いていくことで江戸時代の大名家やその家臣団が成立しました。そのような大名や家臣たちにとって、生き残りをかけた戦いは重要な記憶として伝えられ、記録として残されてきました。この展覧会では上杉家が直接、間接に関わった代表的な合戦について、当時の史料や合戦図屏風、そして江戸時代における上杉家やその家臣らの記録を展示したいと思います。大画面に展開する合戦像や上杉家や家臣らが自らのアイデンティティをどのように伝えようとしたかに触れてみてください。（関連事業2ページに掲載）

国宝 上杉本洛中洛外図屏風
原本展示

常設展示室 上杉文華館



4/27(土)～5/12(日)
6/15(土)～7/4(木)

特別展

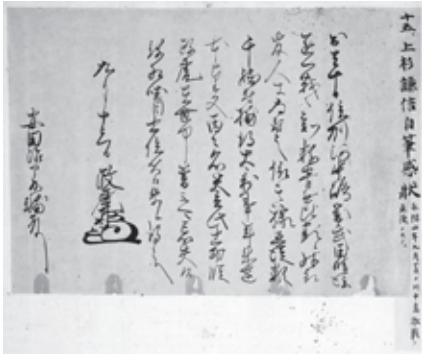
「戦国のメモリー ～合戦図屏風と上杉の記録と～」

前期：4/13(土)～5/12(日) 後期：5/18(土)～6/16(日)
展示替：5/13(月)～17(金) 休館日：5/22(水)

■講演会 6/1(土)14:00～16:00 2階大会議室 ※聴講無料

演題「上杉家における長谷堂合戦の記憶（仮）」講師 金子拓氏（東京大学史料編纂所准教授）

■ギャラリートーク（展示解説） 4/13(土)・5/12(日)・18(土)・6/16(日) 各14:00～15:00 ※要展示室入館料



（永禄4年）9月13日付安田長秀宛上杉謙信書状
（重要文化財「越後文書宝翰集」・新潟県立歴史博物館）



最上屏風（上山城）

主な
展示
資料

<前期>

米沢本川中島合戦図屏風（米沢市上杉博物館）
（永禄4年）9月13日付安田長秀宛上杉謙信書状
（重要文化財「越後文書宝翰集」・新潟県立歴史博物館）
素懸韋威腹巻（山形県指定文化財・上杉神社）
長篠合戦図屏風（名古屋市博物館）
落合左平次青旗（東京大学史料編纂所）※4/13～26のみ展示
賤ヶ岳合戦図屏風（岐阜市歴史博物館）
ピロドマント（名古屋市秀吉清正記念館）
小牧・長久手合戦図屏風（大阪城天守閣）

<後期>

関ヶ原合戦図屏風（行田市指定文化財・行田市郷土博物館）
長谷堂合戦図屏風〔複製〕（最上義光歴史館）
大坂冬の陣図屏風（東京国立博物館）
浅葱糸威鎧色塗付札二枚胴具足（山形県指定文化財・宮坂考古館）
最上屏風（上山城）
直江状（米沢市上杉博物館）
（慶長5年）7月17日長束正家ら3名連署状（長野県宝・真田宝物館）
上杉二十将之図（米沢市上杉博物館）

入館料

一般600円（480円）
高大生400円（320円）
小中生250円（200円）
※〇は20名以上の団体料金
※常設展示室一体型

企画展

「秋山庄太郎 写真家人生のメロディー」

6/22(土)～7/28(日) 休館日：6/26(水)、7/24(水)
料 金：一 般400円（320円）高大生300円（240円）
小中生200円（160円）〇は20名以上の団体料金



原節子（1950年頃）

女性ポートレートや「花」の作品などで知られ、戦後日本写真界に大きな足跡を残した秋山庄太郎（1920～2003）。米沢にもアトリエを構えて年数回訪れ、深い関わりを持ちました。「美しいものをより美しく」という撮影理念に基づいた作品は幅広く親しまれ続けています。ネガティブな状況にあっても常にポジティブなものを生み出し続けた秋山庄太郎の60年以上にわたる写真家人生の軌跡を、没後10年の節目に振り返ります。

企画展

「大正百年の浪漫 夢二の夢 ―竹久夢二の生涯―」

8/3(土)～9/23(月祝) 休館日：8/28(水)
料 金：一 般400円（320円）高大生300円（240円）
小中生200円（160円）〇は20名以上の団体料金



「松竹梅」（三幅対のうちの二部） 竹久夢二美術館蔵

■オープニングギャラリートーク

8/3(土) 14:00（於：企画展示室*要入館料）

「夢二の夢 そして恋」

北アルプス展望美術館館長 新美康明氏

明治17年（1884）、岡山県のお小さな造り酒屋に生まれた竹久夢二は、その後開花する大正浪漫のまきに寵児となりました。その活動は日本画、水彩、油彩、版画、水墨画から詩歌、作詞、童話、挿絵や装幀と多岐にわたり、そうしたマルチな側面は今日でも数多くの媒体などで紹介されています。本名は茂次郎。夢二という画号は、尊敬する藤島武二の名にちなんだものといわれていますが、夢二はどんな思いで自らの名に“夢”を冠したのか？夢二にとっての“夢”とは何であったのか？を彼の足跡と画業をたどりながら探ります。

常設展示室 上杉文華館

国宝「上杉家文書」の中から毎月展示資料を入れ替えてご紹介していきます。

■テーマ 国宝「上杉家文書」が伝える、上杉鷹山の生涯

- ◇ 秋月直丸、上杉家へ 3/26(火)～4/26(金)
- ◇ 上杉家家督相続 4/27(土)～5/21(火)
- ◇ 上杉治憲、初入部 5/23(木)～6/25(火)
- ◇ 上杉治憲の試練 ―七家騒動― 6/27(木)～7/23(火)
- ◇ 上杉治憲の恩師 7/25(木)～8/27(火)
- ◇ 上杉治憲、安永の改革 8/29(木)～9/24(火)
- ◇ 上杉治憲の家臣たち 9/26(木)～10/22(火)

■コレクショントーク（展示解説）
毎回14:00～15:00
※要常設展示室入館券

3/30(土)、4/27(土)
5/25(土)、6/29(土)
7/27(土)、8/31(土)
9/28(土)



下半期展覧会予定

10月5日(土)～11月24日(日)
12月7日(土)～2月2日(日)
2014年2月8日(土)～3月9日(日)

特別展「忠臣蔵の真実―赤穂事件と米沢―（仮）」
コレクション展「ふるさとの情景 米沢」
コレクション展「国宝「上杉家文書」の世界V（仮）」

教育普及事業

たいけん・はっけん・ものづくり

プレイショップ

ようこそ体験学習室へ。
簡単な造形を通してものづくり・発想の
たのしさを。昔遊びや手わざも体験！

マンスリー
造形体験メニュー

- 4月 春のありがみ
- 5月 M.Y. めんこづくり
- 6月 マーブリング
- 7月 ホログラム
- 8月 見たての石
- 9月 ハニカム紙で
いろいろなかたち

※無料で体験できます。（毎月第4金曜日、
ワークショップ等の開催日はお休みです。）

出前授業・ミュージアムスクール



洛中洛外図屏風のレプリカや
郷土作家の作品を教室で！
お気軽にご相談ください。

ワークショップ

さまざまなジャンルの「創る・見る・聞く・感じる」
プログラムを提供します！

ブルーノムナリーの
アートとおそぼう
～ テクスチャー ～

いろいろなものの
「でこぼこ」を
うつしとって
みます。

5/19(日)14:00～

場所 体験学習室ほか

対象 未就学児20名

参加費 500円 ※4/11～申込受付開始

色をみつけよう
幼児のためのドローイング

大画面に筆や
ローラーを使って
描きます。

6/1(土)10:00～

場所 体験学習室ほか

対象 未就学児20名

参加費 500円 ※5/2～申込受付開始

チルドレンキュレーターズ活動中

チルドレンキュレーターズ(子ども学芸員)
は小学生～高校生のメンバーが月に一
回、館内外でさまざまな活動をしています。
ワークショップのスタッフなど博物館の仕事
の一部を体験したり、楽しくスキルアップを
図っています。



東北芸術工科大学オープンキャンパスにて

問合せ：教育普及担当 0238-26-8001

収蔵品

学芸ノートから

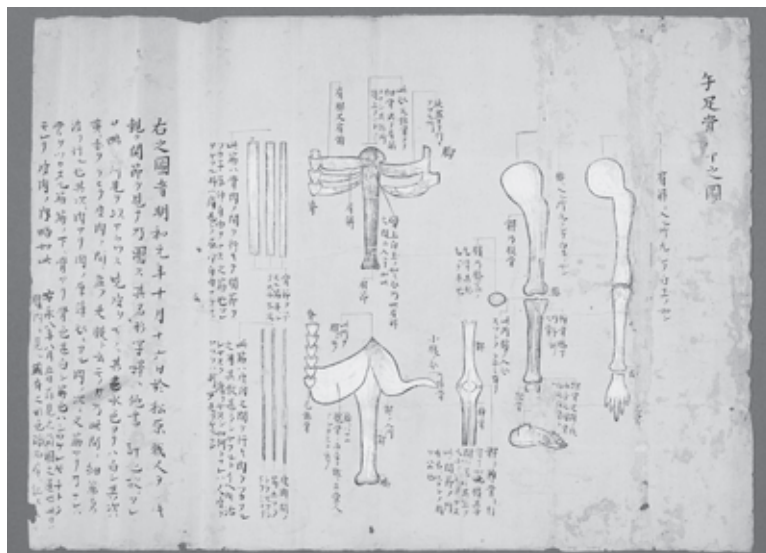
堀内家文書

員数 堀内家文書 315件 書画 31件

時代 江戸時代～大正時代

堀内（江戸時代は「ほりのうち」と名乗る）家の遠祖は、信州堀ノ内村出身で、武田氏に仕え、のち上杉景勝に仕えた武士でした。（「堀内家略系図」）米沢藩五代藩主上杉吉憲代の当主、堀内直重（忠哲）より医家に転じ、以来歴代は米沢藩医として、藩主上杉氏やその一族の治療にあたるなど名医を輩出しました。直重から五代目の忠寛（忠龍、素堂）は、ドイツ人医師フォーエントの著作の一つの小児科書を、サクセがオランダ語に翻訳したものを、弘化2年（1845）に漢訳し、『幼幼精義』として刊行しました。これは、二篇からなり、第一集は、小児疾病の原病論や用薬等についての記述であり、序文は坪井信道、跋文は杉田立卿（玄白の次男）、第二集は痲痘論で、跋文は伊東玄朴でした。また、堀内素堂は、弘化2年（1845）、幕政批判により投獄された（蛭社の獄）友人高野長英が獄舎の火事に乗り脱獄し米沢に立ち寄った際、伊東昇迪とともに長英をかくまったことで知られます。長英と昇迪は長崎で、素堂は江戸で親交がありました。米沢藩では、九代藩主上杉鷹山によって学館再興がなり、安永5年（1776）藩校興譲館が設立するとともに、優秀な学生若干名が細井平洲の江戸の私塾嚶鳴館で学ぶことができる、江戸勤学の制度が整いました。この制度はやがて医学生にも広げられ、堀内忠明（素堂の父）が杉田玄白・大槻玄沢に師事すると、江戸勤学が盛んとなり藩医の子弟に限らず、また自費でも江戸・大坂・京都・長崎といった医学先進地への留学が活発となっていきました。

堀内家文書は、武士から医家に転じ、代々米沢藩主および一族の側医として勤め、米沢藩の医学に大きく貢献した堀内氏の歴史と米沢藩の医学史を知り、それらを培った全国区の人脈も、近世後期の医学史解明に大きな意味を持つ好資料です。



「手足骨節之図」（堀内家文書のうち）

ホール催事案内(4~10月)▼

★伝国の杜ファンクラブ会員割引あり
 ☆伝国の杜ファンクラブ会員先行予約あり
 ◎有料託児サービスあり(事前申込制)
 ○未就学児入場可

秋山庄太郎展記念コンサート「音と色のあいだ」

★☆☆

6/29(土) 18:00開演

【出演】中村由利子(作曲家・ピアニスト)
 【特別ゲスト】紺野美沙子(女優)

全席指定 一般3,000円 学生1,500円(当日各500円増)

ticket

FC先行予約日 4/17(水)のみ 一般発売日 4/25(木)
 プレイガイド D、O、E、Y、A
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

山あり谷ありの人生を自身の“メロディー”にたとえた、米沢ゆかりの
 写真家・秋山庄太郎。米沢の人々とあたたかい交流を育みながら、数々
 の名作を残しています。1990年発表の『花舞台』で、秋山庄太郎初
 の映像作品の音楽を担当し、今なお秋山写真芸術に寄り添うように
 音楽を作り続けている作曲家・ピアニストの中村由利子。秋山庄太郎
 ごひきの女優・紺野美沙子。二人が美しい作品に込められたその
 世界を今に蘇らせます。秋山庄太郎が愛した米沢の風景、秋山写真
 芸術の原型となった1960年のパリにあなたをエスコートします。



コンサートチケットご提示いただくと
 企画展「秋山庄太郎 写真家人生のメロディー」1回無料



シネマ『グスコーブドリの伝記』上映会

☆☆

7/21(日) ①13:00開演 ②16:00開演

【声の出演】小栗旬、忽那汐里、林隆三、草刈民代 他
 【キャラクター原案】ますむら・ひろし(米沢市出身)

岩手出身の児童文学作家、宮沢賢治の童話「グスコーブドリの伝記」を
 映画化し昨年公開されたアニメーション。



全席自由 500円(当日800円)

※1回ご覧になれます。
 ※膝上鑑賞のお子様無料

ticket

FC先行予約日 5/15(水)のみ
 一般発売日 5/23(木)
 プレイガイド D

©2012「グスコーブドリの伝記」製作実行委員会

Jazz Cafe Live 夏 ~池田杏理with渋谷光晴スーパードリオ~

☆☆

7/14(日) 19:00開演

【出演】池田杏理(Vocal)、渋谷光晴(Drums)、
 大村武司(Piano)、マッシュ櫻井(Bass)
 【会場】ミュージアムカフェCulture

関西を代表するシンガー池田杏理が3年ぶりに再登場。圧倒的な歌
 唱力に魅了された方も多いはず。スタンダードからPOPSまで楽しすぎる
 ライブパフォーマンスをどうぞお楽しみに。山形を代表するジャズドラマー・
 渋谷光晴がリーダーを務めます。



全席自由 1,000円(当日1,200円)

※1ドリンク付

ticket

FC先行予約日 5/15(水)のみ
 一般発売日 5/23(木)
 プレイガイド D
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
 ※100席限定

こども狂言クラブ

平成25年度活動予定



4月20日 25年度稽古はじめ
 5月4日 さくらに舞う会
 9月8日 山形県能楽の祭典
 12月15日 稽古おさめ会
 2月8日 雪に舞う集い
 3月21日 春休み発表会

置賜を拠点に活動する「伝国の杜こども狂言
 クラブ」は、米沢市内外から小中高生が参加
 しています。置賜文化ホールの能舞台などで
 狂言師の指導のもと、狂言や小舞をおけいこ
 しています。参加ご希望の方はホールまでお
 問合せください。

ticket

チケット購入方法

(1) 伝国の杜で

- ◇土・日・祝日を含め開館日の9時から17時まで取り扱いをしています。
 発売初日も9時からご購入いただけます。
- ◇事務室での購入か、電話予約が可能です。予約後は1週間以内に事務室で引換をするか、
 郵便振替をお願いします。

(2) プレイガイドで

- ◇公演ごとに決められたプレイガイドで、各店舗の営業時間内に取り扱い窓口でご購入いただけます。
- ◇主催者の都合により販売期間内にプレイガイドでの取り扱いを終了する場合がありますので、
 予めご了承ください。

※購入後は主催者の都合で公演が中止となる場合を除き、払い戻しできませんのでご注意ください。

託児サービス

観たい公演をあきらめなくても
 いいサービスがあります

お子さま連れでも安心♪
 ぜひご利用ください!



- 利用料 1,000円
- 対象 6か月以上から
 小学校入学前まで

※要事前申し込み

金子みすゞ生誕110年 ひとり芝居 『空のかあさま』



8/9(金) 18:30開演

全席自由 前売1,500円 当日2,000円

【出演】谷口英美

※学生は学生証提示で無料となります

(女優、『アローン・シアター』主宰)

ticket

FC先行予約日 5/22(水)のみ 一般発売日 5/30(木)

プレイガイド D、O、E

※未就学児の入場はご遠慮ください。

女優・谷口英美が自らのライフワークと称する、金子みすゞを描いた、ひとり芝居「空のかあさま」。八十編あまりの詩で生涯を綴る異色作。初演から14年目、また金子みすゞの生誕110周年を迎える今年、米沢で初の上演。この機会をお見逃しなく!

童謡の興隆期に華々しいデビューを飾り、大正ロマンを太く短く駆け抜けた金子みすゞ。同じ時代を生きた、竹久夢二の企画展と併せてお楽しみ下さい。



コンサートチケットご提示いただくと企画展「大正百年の浪漫 夢二の夢 ー竹久夢二の生涯ー」割引



・・・・・・・・・・入場無料（お気軽にご来場ください）・・・・・・・・・・

第10回記念 平成25年度山形県能楽の祭典

おきたまの秋空に響け!吹奏楽の日コンサート2013

9/8(日) 10:00開演予定

10/6(日) 10:00開演予定

【出演】県内各流の能楽愛好団体

【出演】置賜地区吹奏楽連盟加盟団体および

伝国の杜こども狂言クラブ

参加意思のある置賜地区内の団体

(期限までに申込が必要。8月中旬締切予定。)

米沢の金剛流をはじめ、山形県内には各地に能楽の文化が受け継がれています。毎年9月に一堂に会して発表し研さん、交流の場となっている本公演は、今年で10回目を迎えます。



平成13年、伝国の杜が開館した年に、能楽は世界無形遺産となりました。しかし、かつて能楽がカラオケ同様に庶民の娯楽だった時代と比べると、おそらく今は歌詞がまるで外国語のように難解に感じられるようになったのでしょうか。

10回目を数える今年は、能楽を楽しむためのちょっとしたコツと基本的な知識を知っていただけるよう、ご来場の方にオリジナルしおりを差し上げます。ご期待ください。



11回目となる毎年恒例のコンサート。小中高校の吹奏楽部や社会人バンドに所属するアマチュア楽器族が一堂に集い秋空にむかってサウンドを響かせます。

PICK UP 下半期の事業から

山形交響楽団 ユアタウンコンサート 米沢公演

一珠玉のオペラ序曲・間奏曲集ー

平成26年1月19日(日) 16:00開演

出演:飯森範親(指揮)、山形交響楽団
プログラム:J.シュトラウスⅡ「こうもり」序曲
スッペ「詩人と農夫」序曲
フンパーティング「ヘンゼルとグレーテル」序曲
ビゼー「カルメン」第3幕 間奏曲
オッフェンバック「天国と地獄」序曲 など

ticket

指定席4,000円

自由席3,000円

学生券(自由席)1,500円

(当日各500円増)

FC先行予約日10/16(水)のみ

一般発売日10/24(木)

プレイガイド D、O、E、Y、A

※未就学児の入場はご遠慮ください。



その他事業も 続々開催決定!

- ・落語公演
- ・Jazz Cafe Live ～秋～
- ・お豆腐狂言～茂山家の笑い
- ・若手音楽家支援事業
- ・親子でたのしむクラシック
- ・能楽アウトリーチ
- 「届けます。能楽堂」

福王寺法林氏を偲ぶ会

2012年11月13日
伝国の杜 置賜文化ホール
エントランス

昨年亡くなられた米沢市出身の日本画家、福王寺法林氏のお別れ会が置賜文化ホールを会場に行われました。合わせてエントランスにて作品を展示し、出席した多くの方が雄大な作品を通して法林氏の偉業を偲びました。今年度「月華夕照」他、4点の作品が米沢市に寄贈され、博物館に収蔵されました。今後機会をとらえて公開していきます。



げっかせきしょう
月華夕照(ヒマラヤ)
福王寺法林
1992年(平成4年)
紙本彩色
237.0*191.0
再興第77回院展



最近の催事から

■2月8日(金)

能楽アウトリーチ 愛宕小学校
関小学校

身近なところに文化の風を届けるのがアウトリーチ。今回は日本の伝統芸能である能楽に使われる楽器を持ってプロの先生たちと2校にお出かけ。好奇心旺盛な子どもたちの生き生きとした笑顔がはじけました。



■10月6日(土)～11月25日(日)

企画展 美の系譜
国画会にみる山形ゆかりの美術

展覧会のオープン初日、山形国画会絵画部の皆さんがご自身の作品の解説をしてくださいました。制作背景や技法について制作者の生の声を聞く貴重な機会となり、会場の皆さんは興味深く作品に見入っていました。



■2月17日(日)

デビュー!クラシック
～置賜の若手音楽家によるコンサート

置賜ゆかりの若手音楽家が審査を経てデビュー。フルート鈴木芽玖さん、ピアノ栗原ふみかさん、作曲家鈴木崇さんが山響の音楽監督・飯森範親氏進行のもと、腕前を披露。3人の門出に地元のお客様の温かい拍手が印象的でした。



■2月23日(土)～3月31日(日)

コレクション展
上杉家文書国宝への道
修復と紙の世界

毎回さまざまな視点でご紹介している国宝上杉家文書。今回は収納箱や筆筒、紙質調査、修復の成果など、普段目にする機会の少ない側面に光をあて、国宝の価値や魅力を紹介しました。



でんもりバックヤード Back Yard

伝国の杜のさまざまな
ひみつを紹介します。



ドアの前のマットのようなもの。強力な粘着素材でできています。これは靴に付着した虫や埃などを収蔵スペースに持ち込まないため博物館側のバックヤードに2か所設置されています。虫・カビ・埃など文化財の劣化要因を除去するための対策を、総合的有害生物管理(IPM: Integrated Pest Management)といます。



↑粘着力が落ちるので定期的に
テープをはがします。

モールの 作品展示予定

定期的に作品を入れ替えています。
ご来館の際はぜひ足をとめてご覧ください。

＜総合案内前＞

・4/22まで
後藤克芳
「DIARY1997 (mimi)」
「SUMMER1997」
・4/24～7/23
後藤克芳
「GARDEN SCISSORS」
「untitled(47)」
・7/25～9/24
後藤克芳
「My hand is dirty」
「My hands are dirty」

＜ミュージアムカフェ＞

・4/22まで
遠藤桑珠「春堤」
・4/24～5/21
遠藤桑珠「松」
・5/23～6/25
遠藤桑珠「草原驟雨」
・6/27～7/23
遠藤桑珠「ギゼーの丘」

*合わせて館長室の作品も
入れ替えています。
*展示作品は都合により変更になる
場合もあります。

■ミュージアムショップから

当館オリジナルグッズ
米沢織のブックカバー
各1,050円



苔色と柿色の2色をベースに4パターン。
お好きな色をどうぞ。

New Lineup

お土産にもおすすめ!
読書をもっと楽しく おしゃれに

当館オリジナルグッズに新アイテムが登場。当館のロゴをモチーフに、ひとつひとつ丁寧に織り上げられた米沢織のブックカバーです。手に馴染みやすい柔らかさで、使い込むとより味が出ることでしょ。

歴史古い米沢織と、現代的なパターン
模様のコラボレーション。
幅広い年代の方におすすめできます。

<http://uesugi-museum.jp>



広げよう 文化ボランティアの輪♡サポーターメッセージ～現在活躍中のサポーターから活動の様子をお届けします

上杉家の歴史に興味があり、サポーターの仕事を始めました。インフォメーション部門では、来館者に米沢と上杉の歴史に興味を持ってもらえるよう観光案内や歴史解説を行っています。教育普及部門で体験学習室での子供達の造形体験へのサポートをしています。昨年、細井平洲のファンが、名古屋からわざわざ、訪れてくれてうれしい限りです。一人でも多くの方に博物館に親しんでもらえるよう手助けになれば幸いです。

教育普及&
インフォメーションサポーター
丸山知良さん



新メンバー募集中

インフォメーション
教育普及
レセプション

伝国の杜を
一緒に
つくって
いきませんか？

お問合せ 26-8000(サポーター担当)



会員募集中！

もっと楽しむ！

伝国の杜
ファンクラブ

(年会費)

□一般会員	2,500円
□学生会員	1,000円
□ジュニア会員	500円

※会員期間は4月1日～翌年の3月末日までです。

会員
特典

- ・会員証の提示で米沢市上杉博物館の常設展示室・企画展示室に何度でも自由に入館できます。(同伴者1人は団体割引)
- ・置賜文化ホール自主事業チケットの先行予約・10%割引販売(会員1人につき2枚まで・一部公演のぞく)
- ・「伝国の杜だより」事業ちらし、ファンクラブ会報の送付(年5回程度)
- ・ファンクラブ会員向けの講座・イベントへの参加(年2回程度)
- ・ミュージアムショップで展覧会図録・オリジナル商品5%割引
- ・ミュージアムカフェでの10%割引(同伴者3人まで)

座の文化伝承館 自主事業

第23回 市民茶会

平成25年6月16日(日)10:30～15:00

入場無料(茶券をご持参ください)

茶券配布 4/18(木)～

配布場所 座の文化伝承館、米沢市役所総合案内、伝国の杜
協力 米沢茶道連合会

茶席担当 1号室(点前)裏千家：海藤宗和先生 2号室(おしのぎ)遠州流：佐藤松彩先生
静山庵(拝見)表千家：伊藤宗壽先生



日本の伝統文化、茶道に親しんでみませんか？必要なものは用意してありますのでお気軽にご参加ください。



庭のつくばいでは手や口の清めかたを教えてください。茶室の雰囲気をお楽しみください。

伊達氏関連史跡写真展(仮)

平成25年6月1日(土)～6月17日(月)

休館日:毎週火曜日

9:00～17:00(入館は16:30まで)入場無料

置賜地域には伊達政宗の父輝宗の墓、政宗が名前を継承した9代義山政宗の墓(いずれも高島町)などの墓石をはじめ多数の伊達家ゆかりの史跡、寺社、文化財が残されています。館山城の発掘調査も進められていることから、伊達家にスポットを当て、これらの史跡を写真パネルで紹介していきます。



座ってたのしむ小さなステージ vol.7

琵琶を聴く会

伝国の杜
サポーター連携

平成25年5月12日(日) ①13:00～ ②16:00～

入場無料(整理券が必要です)

整理券配布 4/11(木)～

配布場所 座の文化伝承館、伝国の杜

出演 おいかけのぼる
笈掛昇(錦心流琵琶奏者)

定員 ①②とも30名程度

笈掛昇さんは主に米沢市や南陽市などで語り部として活躍しています。猛々しい声で朗々と、歴史物語を語ります。琵琶の演奏とともに聴きください。



展覧会

教育普及事業

ホール

G: ギャラリートーク C: コレクショントーク
(企画展示室展示解説) (常設展示室展示解説)

講: 講演会

企画展示室

常設展示室

上杉文華館
◇テーマ

3/26~4/26
秋月直丸、上杉家へ
CT3/30(土)

4/27~5/21
上杉家督相続
C 4/27(土)

5/23~6/25
上杉治憲、初太郎
C 5/25(土)

6/27~7/23
上杉治憲の試練
一七家騒動一
C 6/29(土)

7/25~8/27
上杉治憲の恩師
C 7/27(土)

8/29~9/24
上杉治憲、安永の改革
C 8/31(土)

9/26~10/22
上杉治憲の家臣たち
C 9/28(土)

○: 自由参加制ワークショップ(申込不要)
■: 募集制ワークショップ(要事前申込)
□: 連続ワークショップ活動日

□5/19(日) テルドレンキュレーターズⅧ①
■5/19(日) ブルーノムナーリのアートとあそぼう
テキストチャーター

■6/1(土) 色をみつけよう
幼児のためのドローイング
■6/7(金) 和の時間
手持ちの布ですてきな葉書づくり
■6/16(日) 洛中洛外図屏風にせまる
~日本画の素材と技法~

□6/22(土) テルドレンキュレーターズⅧ②
○6/22(土) 笹巻きっていいなあ・・・
■6/28(金) ナイトツアーようこそ夜の博物館へ
洛中洛外図をたのしむ
■6/30(日) 体験・ソフトフォーカス

○7/6(土) むかしむかしをきこう1
■7/7(日) 型絵染入門~用の美をつくる

■7/13(土) 誰も知らない博物館①(施設編)
■7/20(土) 夏休みものづくりルーム
オープンでお皿をつくろう1
■7/21(日) 印画紙で簡単フォトグラムをつくろう

■8/9(金) 夏休みものづくりルーム 水彩画入門
■8/9(金) 夏休みものづくりルーム
オープンでお皿をつくろう2

■8/10(土) 夏休みものづくりルーム Myはしづくり
□8/10(土) テルドレンキュレーターズⅧ活動日③
■8/11(日) 夏休みものづくりルーム

ミニチュアをつくろう~パティンエになろう
□8/11(日) テルドレンキュレーターズⅧ④
○8/17(土) むかしむかしをきこう2
■8/23(金) ナイトツアーようこそ夜の博物館へ
大正浪漫パラダイス~夢二をあくるく~

■8/24(土) 和の時間 夢二の着物
~大正ロマンと着物にふれる~
■9/7(土) 透明な世界 グラスアートにふれる
○9/21(土) むかしむかしをきこう3

こども狂言クラブは、小中高
生が1年を通して活動中。見
学、体験ご希望の方は事前に
ご連絡ください。

5/4(土) 能狂言 さくらに舞う会

6/29(土) 秋山庄太郎展記念コンサート
「音と色のあいだ」

7/12(金) Jazz Cafe Live 1
7/21(日) 宮沢賢治没後80年
シネマ「グスコブドリの伝記」上映会

8/9(金) 金子みすゞ生誕110年
ひとり芝居「空のかあさま」

9/8(日) 第10回記念
平成25年度山形県能楽の祭典

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」
(右隻第三扇)

室町時代 狩野永徳筆
原本展示 4/27(土)~5/12(日)
6/15(土)~7/4(木)

左下には「一服一銭」と呼ばれる、風炉と茶釜、水を入れた桶、茶道具を持って
振り売りする茶屋の様子が描かれています。右側には祇園の御旅所である大政所の
鳥居が見え、黒い傘をかぶった二人の巡礼が見えます。巡礼は信仰のために聖地や
霊場を巡り歩きました。



◆利用案内◆

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代)(公財)米沢上杉文化振興財団
0238-26-2660(FAX)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール/チケット・施設利用)
ホームページ <http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
ブログ <http://samidare.jp/denkoku>
博物館開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)
博物館休館日: 4月~11月 第4水曜日(休日の場合その直後の平日)
12月~3月 毎週月曜日(休日の場合その直後の平日)
年末(今年度は12/26~12/31) ※4/24は開館
※年始 1/1~1/3は休まず開館します。
ホール休館日: 毎週月曜日/年末年始(休日の場合その直後の平日)
博物館入館料: 常設展 一般400(320) 高大生200(140) 小中生100(60)
()は20名以上の団体料金 ※特別展・企画展は別途



「伝国の杜」の「伝国」という言葉は、米
沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉
治広に家督を譲る際に藩主の心得として与え
た「伝国の辞」に由来するものです。